

●『Learning to Belong in the World: An Ethnography of Asian American Girls』

著者： Tomoko Tokunaga

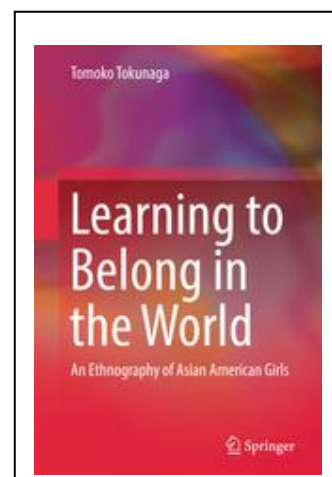
発行：Springer / 2018 年 3 月

価格：本体 99.99 米ドル

判型：24cm×16cm, 156 頁

ISBN：978-981-10-8478-2（ハードカバー）

ISBN：978-981-13-4163-2（ソフトカバー）



【内容紹介】

グローバル化の進展に伴って、複数の国・文化・言語のはざまを生きる子ども・若者が増加している。差別や排除の対象になりやすい移民の若者たちは、どのように居場所を探し、想像し、作り出しているのだろうか。

本書は、2年間に及ぶフィールドワークを基に、アメリカ東海岸の大都市圏に暮らすアジア系アメリカ人の女子高校生たちがどのようにアイデンティティや帰属意識を形成しているのかを検討している。フィリピンやベトナム、中国、インドにルーツをもつ彼女たちは、アジア系アメリカ人として、10代の女性として、ワーキングクラスとして、アメリカ社会の中で幾重にも周辺化されており、日常的に人種やジェンダーによる差別や困難を抱えている。しかしながら、そのような厳しい環境にも屈せず、多様な文化的背景をもつ仲間と共に高校の地下空間を「占拠」したり、NPOの放課後プログラムに参加し、アジア系アメリカ人としてのアイデンティティを再確認したりしている。また、ショッピングモールでアジア関連の商品やファッションを消費し、オンライン上で日本のアイドルグループの番組を視聴し、世界に広がる移民背景をもつファンたちとバーチャルな居場所を作っている。

本書は、10代の移民女性たちの生活世界・意味世界に寄り添うことで、彼女たちが想像力を駆使して、たくましく生き抜く姿を描いている。移民の教育支援のあり方を考えるうえでも、本書がその一助になれば幸いである。

【出版社の書籍紹介ページ】

<https://www.springer.com/jp/book/9789811084782>

【著者紹介】

徳永智子（とくなが ともこ）

筑波大学人間系教育学域助教。東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学、米国メリーランド大学カレッジパーク校より博士号（教育学）取得。専門は教育社会学・教育人類学。日米で移民と教育に関する研究・実践に従事している。

【その他】

本書は日本教育社会学会第 71 回大会（2019 年）にて、第 8 回日本教育社会学会奨励賞（著書の部）を受賞しました。